

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第69号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成24年3月10日 22時30分ごろ	
発生場所	和歌山県串本町潮岬南方沖 潮岬灯台から真方位195° 190海里付近 (概位 北緯30° 22.1′ 東経134° 50.6′)	
事故等調査の経過	平成24年6月22日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第三神徳丸、119トン	
船舶番号、船舶所有者等	135463、有限会社神徳水産	
乗組員等に関する情報	機関長、五級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	補機 主軸受メタル剥離、5番シリンダのクランクピン軸受焼損	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか23人が乗り組み、平成24年3月9日09時30分ごろ宮崎県日南市目井津漁港を出港し、潮岬南方沖の漁場に到着してかつお一本釣り漁を操業中、翌10日22時30分ごろ、北緯30° 22.1′ 東経134° 50.6′ 付近において、左舷側発電機の前動機（以下「補機」という。）から異常音が発生した。</p> <p>本船は、補機を停止して修理業者と連絡を取りながら原因調査を行ったが、原因が判明しなかったため操業を中止し、14日日南市大堂津漁港に帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2</p> <p>海象：海上 平穏</p>	
その他の事項	<p>本船は、補機のシリンダカバー6個を開放点検したところ、1番シリンダカバーの吸気口に水漏れ跡があり、インタークーラーにも水漏れ跡が発見された。さらに、5番シリンダを開放点検したところ、クランクピン、接続棒及びクランクピンメタルが焼損しており、主軸受メタル全数に剥離が発生して金属粉が潤滑油に混入していた。</p> <p>本船は、平成23年1月に定期検査を受検し、同検査では、1番クランク軸メタル及びピンメタルを新替していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、潮岬南方沖において操業中、補機の主軸受メタルに剥離が発生したことから、金属粉が潤滑油に混入して潤滑が阻害され、5番シリンダのクランクピン、接続棒及びクランクピン軸受メタルが焼き付いて補機の運転ができなくなり、運航が阻害されたものと考えられる。</p> <p>補機は、インタークーラーに冷却水の水漏れが</p>

		発生し、燃焼室を經由してクランク室内に入り、潤滑油の性状が劣化したことから、主軸受メタルの剝離が進行したものと考えられる。
原因		本インシデントは、夜間、本船が、潮岬南方沖において操業中、補機の主軸受メタルの剝離が発生したため、金属粉が潤滑油に混入して潤滑が阻害され、5番シリンダのクランクピン、連接棒及びクランクピン軸受メタルが焼き付いて補機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考		<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 潤滑油の性状を定期的にチェックし、異常がある場合には、原因を確認すること。</li> </ul>